

# 環境活動レポート2021



対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日

2021年6月01日 株式会社ガスパル

## 環境活動レポート2021    ~目次~

1. 事業所の概要
2. 環境方針
3. 環境活動実施体制
4. 環境目標とその実績
5. 2020年度環境活動の取組結果の評価
6. 代表者による全体取組状況の評価及び見直し
7. 環境マネジメント等の環境経営に関する状況
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
9. 環境会計情報
10. サプライチェーンマネジメントの等の状況
11. 環境に配慮した輸送に関する状況

## 1. 事業所の概要

- 1-1. 事業所及び代表者氏名 株式会社ガスパル 代表取締役社長 橋本 俊昭
- 1-2. 所在地 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号  
天王洲セントラルタワー 11階  
電話 03-6718-9080
- 1-3. 環境管理責任者氏名 総務部部門長次長 春山 真紀
- 1-4. 担当者連絡先 電話 03-6718-9463 FAX 03-6718-9131  
総務部 総務課 榎田 英雄  
総務課 高嶋 悠佳
- 1-5. 事業活動の内容
- ・LPガス、都市ガスの販売
  - ・LPガス設備工事の請負 等
- 1-6. 事業の規模
- |        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 資本金    | 1億2000万円                             |
| 事業所数   | 105拠点（2021年3月末現在）<br>（本社+販売所※関連会社含む） |
| 売上高    | 322.65億円（2021年3月実績）                  |
| 社員数    | 993人（2021年3月末現在）                     |
| 総管理戸数  | 551,017戸                             |
| 自社供給戸数 | 379,031戸                             |

## 2. 環境方針

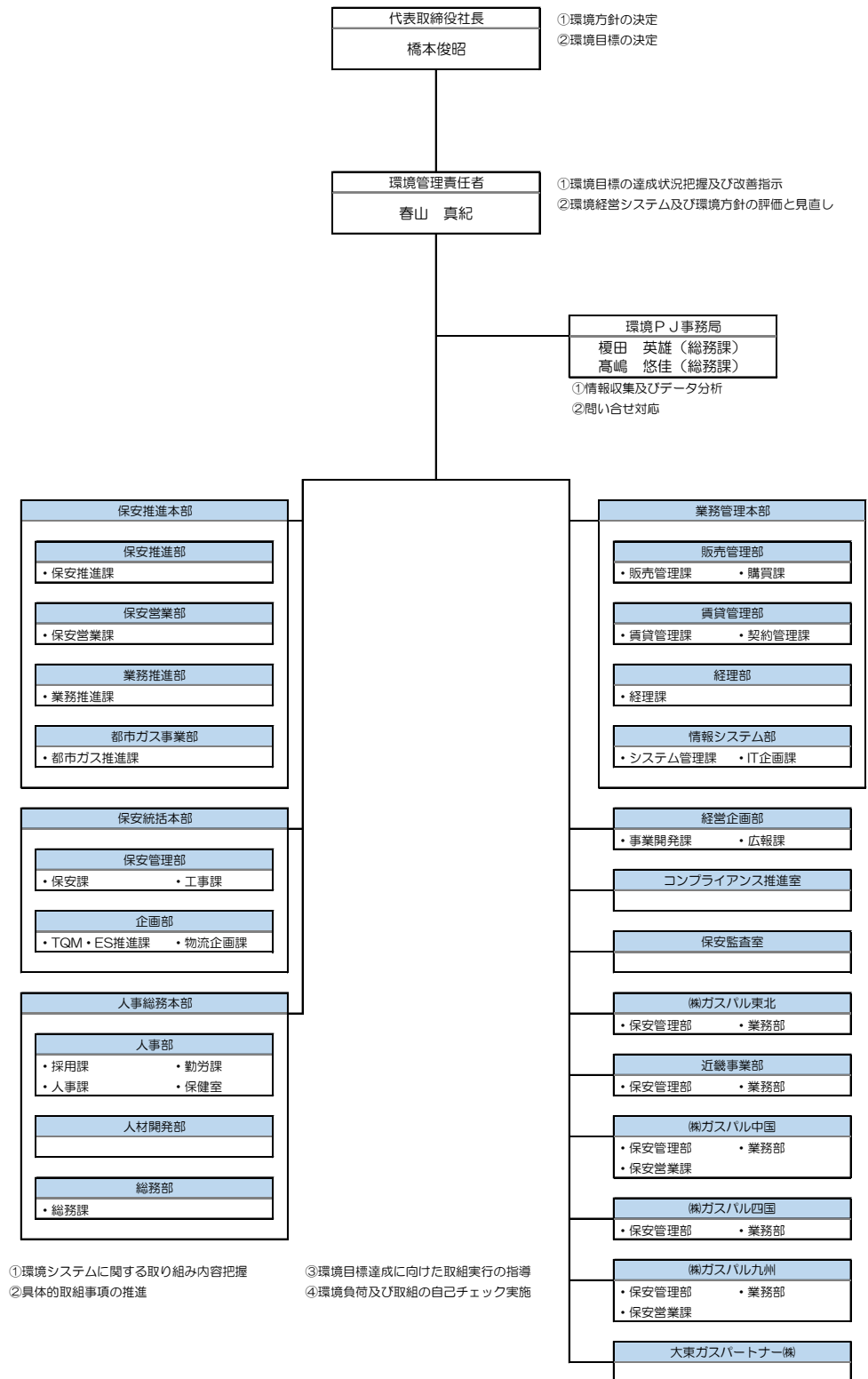
### 2-1. 環境基本方針

私たちは全ての事業活動において、省資源、再利用、再資源（3R）に努め、地球環境の保全に積極的に取り組みます。また、社会インフラの一役を担う企業として、地域社会や自然との調和を重視し、安心・安全な住環境を提案し続けます。

### 2-2. 環境行動指針

- 2-2-1. 法規制：環境に関連する法規を遵守し、事業活動を行っていきます。
- 2-2-2. 教育：啓蒙活動を継続して、全社員が環境に優しい活動を率先して取り組んでいきます。
- 2-2-3. 省資源：省資源化に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
- 2-2-4. 再利用：資材の再利用化に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
- 2-2-5. 再資源：資源のリサイクルを推進し、環境負荷の低減に努めます。
- 2-2-6. 創造：人に優しい住環境を提案し、より環境負荷の低減につながるサービスを提供します。

### 3. 環境活動実施体制



## 4. 環境目標と実績

### 4-1. 環境目標

#### 4-1-1. エネルギー消費量削減

- ・・・電気使用量 前年度比▲1.0%削減（1人あたり）  
クールビズ実施、ライトダウンキャンペーン、  
ノー残業デー実施、PC利用時間制限（22:00まで）  
LED照明導入推進

#### 4-1-2. 燃料消費量削減

- ・・・ガソリン使用量 前年度比▲1.0%削減（1人あたり）  
エコドライブ推進、低燃費車両導入推進 導入率50%

#### 4-1-3. コピー紙使用量削減

- ・・・コピー紙使用量 前年度比▲2.0%削減（1人あたり）  
Nアップ印刷慣行、ペーパーレス会議の実施、保管文書電子化

#### 4-1-4. グリーン購入

- ・・・グリーン購入率 75.0%以上を実現  
エコマーク付き商品の購入、購入品見直し

4-2. 2020年度実績

環境への負荷の状況		単位	2019年度	2020年度
①総エネルギー供給量	購入電力	MJ	10,797,708	11,686,644
	化石燃料	MJ	26,043,711	29,282,719
	新エネルギー	MJ	0	0
	その他	MJ	0	0
②物質投入量	資源投入量	t	0	0
	循環資源投入量	t	0	0
③資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	3,055	3,118
	工業用水	m <sup>3</sup>	0	0
	地下水	m <sup>3</sup>	0	0
	雨水	m <sup>3</sup>	0	0
	再生水	m <sup>3</sup>	0	0
④温室効果ガス排出量	二酸化炭素 CO2	kg-CO2	205,665	242,505
	メタンCH4	kg-CO2	0	0
	一酸化二窒素N2O	kg-CO2	0	0
	HFC	kg-CO2	0	0
	PHC	kg-CO2	0	0
	六ふつ化硫黄SF6	kg-CO2	0	0
⑤化学物質排出量・移動量	大気への排出量	T	0	0
	公共用水域への排出	T	0	0
	土壌への排出	T	0	0
⑥管理戸数及び自社供給戸数	管理戸数	戸	541,430	551,017
	自社供給戸数	戸	360,605	379,031
⑦廃棄物等 総排出量	再使用	t	0	0
	再生利用	t	0	0
	熱回収	t	0	0
	単純焼却	t	0	0
	総排出量	t	126.89	146.32
⑧廃棄物最終処分量		t	0.00	0.00
⑨水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	0	0
	下水道	m <sup>3</sup>	1,453	1,581
	BOD	g	0	0

## 1. 電気消費量削減

- LED照明の導入を推進しています。
- クールビズ導入等、事務所におけるエアコンの温度設定（26～28度）を実施しています。
- 退勤者エリアの積極的な消灯を行っています。
- 一斉消灯を行い、必要最低限の点灯を実施しています。
- ライトダウン運動に参加し、全事業所にて実施しています。

## 2. 化石燃料の消費量削減

- 車両の新規調達および切替え時には低燃費車の導入に努めています。
- 販売所におけるエコ安全ドライブを奨励・教育し、運行自動車のガソリン消費量の削減に努めています。また、毎月の化石燃料使用量・走行距離を測定し、燃費改善活動に役立てています。

## 3. 水資源投入量削減

- 各販売所における節水を意識し、投入量削減を心がけています。

## 4. コピー紙使用量削減

- 紙使用量削減の施策（両面印刷やNアップ印刷、会議ペーパーレス化等）を実施しています。
- 毎月、社内通達にて拠点ごとのコピーカウンターを開示し、コピー紙使用量削減意識の向上を図っています。

# 5. 2020年度環境活動の取組結果の評価

## 5-1. 環境活動の取組結果の評価

2020年度は2009年度から採り入れているエコアクション21の考え方に則り、環境経営の推進を図りました。

2010年度より開始した販売所での環境負荷の測定・活動体制も定着し、具体的な環境負荷目標を項目ごとに定め、取り組みを進めて参りました。

◆電気使用量（一人あたり）	+1.68%（評価：×）目標未達
◆紙使用量（一人あたり）	▲8.47%（評価：○）目標達成
◆ガソリン使用量（一人あたり）	+6.47%（評価：×）目標未達
◆グリーン購入率	75.98%（評価：○）目標達成

コロナ禍における換気の徹底に伴い室温が安定しなかったことから、冷暖房にかかる電気使用量が増加いたしました。

また、感染防止の為現場への直行直帰の増加・車両の乗り合い禁止に伴い、ガソリン使用量が増加いたしました。

今後は改めて、無駄な電力使用の削減、エコ安全ドライブによるガソリン使用の削減に努めてまいります。

## 6. 代表者による全体取組状況の評価及び見直し

### (1) 環境マネジメントシステムの見直し

- ① 本社から積極的な環境経営活動の推進を図ること。
- ② 推進役となる本社部門は、課題を設定し推進を図ること。

### (2) 環境方針、環境目標等の見直し

- ① 環境目標の設定に対する妥当性（価値ある目標であるか）を検証すること。
- ② 5S徹底、節約、無駄遣いしない等、『あたり前のことをきちんとやる』ことが、環境経営活動にも繋がる事を浸透させること。
- ③ エコカー（ハイブリッド車等）の導入検討を目標に織り込む事。

## 7. 環境マネジメント等の環境経営に関する状況

### 7-1. 環境マネジメントシステムの状況

2009年度からエコアクション21の考え方を採り入れ、環境経営の構築を開始しました。2020年度においては、具体的な管理目標を項目ごとに定め、全社に活動を展開。各販売所での環境負荷測定および定例報告、教育・啓発活動を実施いたしました。

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 8-1. 環境法規制等遵守チェックリスト

対象項目	該当期間	件数	適否	確認者
関連法規に係る違反	2020年4月1日～	2	否	榎田
関連法規に係る訴訟	2021年3月31日	0	適	榎田
関連法規に係る行政指導	確認日：	0	適	榎田
関連法規に係る行政処分	2021年4月1日	0	適	榎田

2020年4月1日～2021年3月31日の期間において、関連法規に係る違反が2件見つかりました。



## 8-2. 環境法規制等違反リスト

### (1) 違反対象項目

- ①産業廃棄物収集運搬・処分委託契約書に添付する「許可証」の期限管理不備
- ②「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の提出漏れ

### (2) 対応結果及び再発防止策

①当社で保管する全ての産業廃棄物収集運搬・処分委託契約書につき、添付されている「許可証」の有効期限を再確認し、期限超過分については更新版を取り寄せることにより、2021年3月31日までに全ての「許可証」の有効性を確認いたしました。なお、各「許可証」の有効期限については、台帳で一覧管理することにより、期限前に更新できる体制を整えました。

②全拠点に「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の提出方法を周知することで、2020年度に産業廃棄物を排出した全拠点におき、2021年5月31日までに「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」を提出いたしました。なお、毎年期初に社内案内することにより、報告書の提出漏れを防止いたします。

## 9. 環境会計情報

環境会計は採用していません。

## 10. サプライチェーンマネジメントの等の状況

充てん予測システムの導入など効率的な充てん業務により、環境負荷削減に取り組んでいます。

## 11. 環境コミュニケーションの状況

環境活動レポートを作成し環境コミュニケーションに取り組んでいます。

今後も、環境活動報告書による取り組み状況の開示に努めます。

販売所での環境負荷測定状況について社内周知を実施し、環境教育や各施策についての理解が深まるよう意識高揚を図っています。

以上